



昇路となっているアプローチ。
 歩くにつれ斗は密になり、地下に入る
 イメージを覚める。
 下り通路に落ちた人々の重い足取りを
 さげなく火葬場へといざなう。



突然光が降り注ぐ。
 知れぬ儀式にここで就き行われる。



光は抑えられ、地下に誘導される。
 すると足元に光が差し込み、
 告別ホールにいざなわれる。



火葬場へ向かう一連のバス断面 S=1:1000

緩やかな勾配、光線の揺れで高さ低い木並の空間に向かわせる。



火葬場の前ホールを含む断面 S=1:1000

木が引込むより50%、森の向かって傾斜がある。

0 10 20m



West elevation S=1:3000



East elevation S=1:1000



North elevation S=1:1000



South elevation S=1:1000



Section 2/2 S=1:1000



Section 3/3 S=1:3000 0 10 20m



森を抜けて丘に向かう。その先に日本人のふとさとの風景が広がる。



丘の果時には森に包まれた島がある。
 故人はここで眠る。